

衆議院災害対策特別委員会ニュース

【第204回国会】令和3年5月27日（木）、第7回の委員会が開かれました。

- 1 災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律案起草の件
 - ・額賀福志郎君外6名（自民、立民、公明、維新、国民）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者逢坂誠二君（立民）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・提出者津島淳君（自民）、逢坂誠二君（立民）及び佐藤英道君（公明）に対し発言がありました。
 - ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。

（賛成－自民、立民、公明、共産、維新、国民）
（発言者）森山浩行君（立民）、田村貴昭君（共産）
- 2 災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する件
 - ・工藤彰三君外4名（自民、立民、公明、維新、国民）から提出された災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する件の決議案について、提出者早稲田夕季君（立民）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。

（賛成－自民、立民、公明、共産、維新、国民）
・小此木国務大臣（防災担当）から発言がありました。

（発言者及び主な発言内容）

森山浩行君（立民）

病院船の必要性及び課題についての提出者の認識

田村貴昭君（共産）

- （1） 令和3年3月に政府が公表した「病院船の活用に関する調査・検討を踏まえた政府の考え方」において病院船の活用に係る課題が示されているにも関わらず本案を起草した理由
- （2） 「災害時等における医療の提供の用に主として供するための船舶」を国際緊急援助活動等に活用している最中に我が国において災害等が発生した場合の対応方法
- （3） 本起草案において「国際緊急援助活動等」とされている活用方法の具体的内容及び平時の活用方法が「災害が発生した地域等での医療提供」という本来の任務から逸脱しないものとするための根拠
- （4） 医療従事者の確保を平時から促進していく必要性